

# 令和7年度 ノーリフティングケア普及促進事業

## 実践報告

~ゆっくりでも「確実な1歩」にしたい~

歩く。



前を見て

社会福祉法人 清風会  
特別養護老人ホーム石並園

### ノーリフティングケアこれまでの歩み



1年目	他施設の取り組みから当園の課題の多さに愕然としながらも手探りでスタート。全体研修も出来、先ず先ずのスタートと思われたが、その後、次々と心が折れそうになる出来事が続き、不穏ムードに(T_T)
2年目	不穏ムードのなか、マネジメント計画を進めようともがくが既存のケア方法から脱却できず、脱落者も出て、拡がりつつあったチームを一旦休止することとなった。その中で大きかったのは地域連絡協議会で当園に見学に来て頂いた他施設からの助言でした。入浴ケア方法の変更で新しい流れを感じる事ができました。しかし、現場の抵抗は無視できないという壁は続く...
3年目	残ったメンバーで技術の勉強だけは続けよう！補助金を活用して福祉用具を揃えよう！この二つに特化して細々と取り組みを続ける。1名が技術認定試験合格！伝達計画を再スタート 目標：伝達チームの充実・指導者の育成にとりかかるまで(^^)/
4年目	更に2名が技術認定試験合格（NPOさんに感謝！） ノーリフティングケアを園の方針として根付かせるべく、フロア毎の定例ミーティングの重点項目の一つに「ノーリフティングケアの定着」を入れ込む！ 全介護・看護職員にスライディンググローブを所持するように施設長より指示（達成率100%には至らず(-_-;)） 業務の合間に伝達の時間を少しずつ確保できるようになってきた （従来のケア方法からの変化に対する根深い抵抗感はまだ有る）

ココで

# 社会福祉法人 清風会 特別養護老人ホーム 石並園



設立 1970年12月1日  
定員 100名(ショート9名)  
職員 介護 38名  
看護 7名  
その他 7名

白砂青松の地、行橋市稲童で、笑顔とやさしさをモットーに、快適に・安心して生活していただけるように、職員一同まごころこめてつくします。

## 福祉用具の充実

申請中

HUG 追加2台  
電動昇降式フルリクライニングキャリー3台

- ①スタンディングリフト
- ②スライディングボード
- ③スライディングシート
- ④スライディンググローブ
- ⑤床走行式リフト

- HUG2台
- フレックスボード
- 乗せかえ君
- イージーグライド
- 各サイズフロア毎に複数枚
- 全介護職員・看護職員に配布(常時携帯)
- 2台稼働
- スカイリフト1台
- イージーロール、
- ダントール(大好評)
- イージーモーションなど

不足

跳ね上げ式車椅子  
モジュール型車椅子  
スライディングシート



# 技術伝達チーム

技術指導が出来るスタッフも増え、  
業務の合間の時間を活用し、主に福祉用具 操作の指導中

## 課題

- ・ 身体の使い方の指導が後回しになっている
- ・ 一度の指導では習得できず、繰り返し指導したいが時間が確保できない
- ・ チェックが追いつかない(使用の場にたまたま居合わせるしか)
- ・ 職員が福祉用具操作のリスクを理解できていない
- ・ 自分たちの練習時間の確保が難しい(月1定例勉強会の予定が勤務時間と合わない)
- ・ 技術指導の時間、他の職員の業務負担が大きいと不満が出る
- ・ 習得する気になるように関心を持てるよう 指導する側の工夫も必要

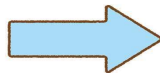


# ポジショニングの目覚め…

地域連絡協議会のなかでポジショニングの研修を受ける  
機会も有り、意識は確実に変わりました！

安楽な姿勢が筋緊張をやわらげる！  
早速、実践です。

右上肢、両下肢拘縮有り、痛みの訴えも多く、離床困難  
と思われたがスタッフの献身的な努力の結果



## ポジショニングの効果



- ポジショニングでの安楽な姿勢
- 頻繁な圧抜き、体位変換
- ジャンケンや音楽で気分転換

# モチベーション向上を目指して

(研修・フォーラム参加)

- ・ 技術認定試験特別指導(NPO主催)
- ・ ポジショニング研修(NPO主催)
- ・ ポジショニング研修(協力医療機関PT)
- ・ 県技術向上研修ノーリフティングケア  
初級・上級(県主催)
- ・ 筑豊地域ノーリフティングケアフォーラム  
(筑豊地域連絡協議会主催)
- ・ ポジショニング研修(モルテン主催)



## 課題

委員会以外の職員にも積極的に研修に参加して  
もらったが 意識の向上には繋がらず…  
全職員のモチベーション向上の為に？



# 1階定例ミーティング (重度者が多いフロア)

～ノーリフティングケアの定着～

## 重点項目

- ・ 離床支援(フレックスボードやシートが大活躍)
- ・ 排せつ介助・体位変換(シートやグローブの使用率急上昇！)
- ・ スタッフ全員がシートやグローブを使えるように業務の合間を見つけては  
積極的に伝達を継続中
- ・ 床走行式リフトが使えるか伝達計画を検討中

## 課題

不満を漏らす職員の声がモチベーションを下げる…  
身体の使い方まではなかなか習得出来ず、とりあえず使ってみる…  
グローブの使用率も上がってきたがまだまだ、これから更に定着を…



興味を持って貰う事、シートや  
グローブに慣れて貰う事を優先した。  
特にシートは良さを実感し、「もっと早く  
教えて貰いたかった」と嬉しい声もあった。

## 2階定例ミーティング(自立度の高いフロア)

～ノーリフティングケアの定着～

### 重点項目

- ・ 離床支援に移乗ボードやスタンディングリフト使用
- ・ 床走行式リフトやスタンディングリフトの技術指導



スリングシートの手順が面倒？  
安全に装着し、グローブで圧を抜く、  
その動作の時間が…との意見も



### 課題

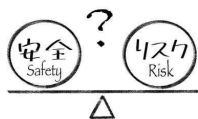
Hugは大人気

- ・ 福祉用具の使用が正しく出来ていない(繰り返し指導中…)
- ・ グローブやシートを使うより抱え上げてしまう事が多い
- ・ グローブを全職員携帯するように指示しているが…
- ・ 床走行式リフトに慣れた職員が少なく、移乗ケアの統一が出来ない

## ヒヤリハット！

床走行式リフトも使用出来る様に計画していましたが、スリングシートの装着が甘く、操作中にズレて、お尻からゆっくりと落ちた。スタッフ2名で支え、影響なし(T\_T)

### 課題



### なぜ、ズレたのか？

スリングシート装着の際に緩みを確認したか？

操作のリスクを理解出来ている？

慣れるまで2人体制としていたが守れていたか？

積極的に使用してくれていた職員が委縮しないようにしたい

リスクの学びなおしも必要

床走行式リフトの有効活用には  
まだ至っていません。



その後、学びなおしの計画を立て、  
業務の合間に調整中

## Hugは利用者も職員も大好き！

私の特別なアレ  
(Hug) 持って来て！



これが一番いいね！



操作をきちんとすると自分の  
姿勢も伸びた。気持ちがいい。  
利用者さんとお話ししながら  
介助が出来て本当によかった

気付けば最近はお  
抱え上げてない気がする

バンザイでスタンバイ  
これは本当にいいよ！



フロアのスタッフは  
ほぼ使ってます

楽で便利！  
外国人スタッフも大喜び！

## 今後の活動計画

新メンバー  
令和7年度2名入職  
作業療法士、生活相談員



目標:ノーリフティングケアの理念を全職員が理解する

方針:ノーリフティングケアを基本とし、全職員が統一したケアに取り組む

- ・ 委員会の定期的な開催 (年間スケジュール・意見交換)
- ・ 技術勉強会の継続 (主要メンバー + 新たに育成)
- ・ リスクを拾い上げる体制整備 (全職員がリスクを理解)
- ・ 無理のない計画作成 (確実にクリアしていくPDCA体制づくり)
- ・ 福祉用具の管理 (在庫管理・担当する利用者様の用具の定期点検)
- ・ 新人教育にノーリフティングケア伝達を実施 (基本のケア)
- ・ 各フロアにメンバーの配置 (効率的な伝達・リスクの拾い上げ)



慢性的な人手不足の為、令和5年から外国人の受け入れを開始、  
現在10名在籍、職員の平均年齢が大幅に若返りました！  
さらに来年4名追加の予定です。  
その結果、腰痛保持率の単純比較が困難です…